

品番	適合アーム	適合ポール	器具質量	適合ランプ
YA54590K	—	—	1.7kg	RF110V270WH（レフ電球） RF220V270WH（レフ電球）
YA54591K	YK40071 YK40072 YK40074	YD3511K	1.4kg	BHRF200-220V250W （パラストレス水銀灯リフレクタ形）

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

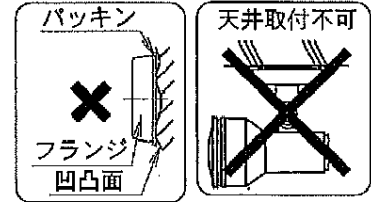
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

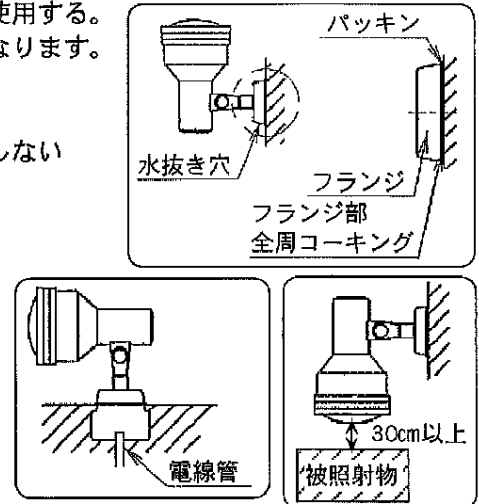
警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実にこなす。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所、湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地帯、塩素を使用する屋内プールなどでは使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 凹凸のある面には取付けない。落下・感電の原因となります。
- 天井吊下げなど天井取付はしない。落下の原因となります。
- 樹脂製（塩ビ製）ボックスに照明器具を取付けない。落下の原因となります。
- 器具の耐風速は60m/sです。これ以上の風速の影響を受ける場所での使用はしない。落下の原因となります。



注意

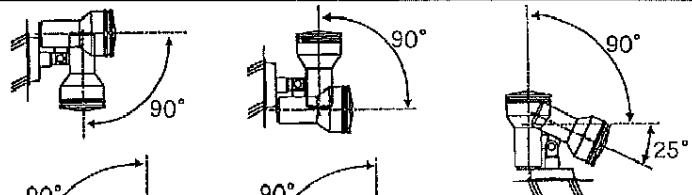
- 壁面取付される場合は、水抜き穴を下にして取付け、ブッシングを外して使用する。据え置きで使用される場合はブッシングを外さない。感電・火災の原因となります。
- 器具取付後、フランジ周囲に全周コーキングを行う。感電・火災の原因となります。
- 木ネジ、器具取付板とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取付ける。不備があると感電や故障の原因となります。
- 冠水の恐れのある場所には使用しないでください。浸水による感電の原因となります。
- 据え置きでご使用の場合は電線管配線を行い、空気が流通するようにしてください。浸水による感電の原因となります。
- 周囲温度が35℃以上の場所では使用しないでください。火災・ランプ短寿命の原因となります。
- ランプは、器具との適合とランプの使用制限を確認のうえ、ご使用ください。ランプの破裂・火災の原因となります。
- 被照射面との距離は30cm以上離してください。過熱による火災の原因となります。
- 草や木で器具が覆われるような場所では使用しないでください。火災の原因となります。
- 前面ガラスが高温になりますので人が容易に触れる恐れのある場所では使用しないでください。やけどの原因となります。



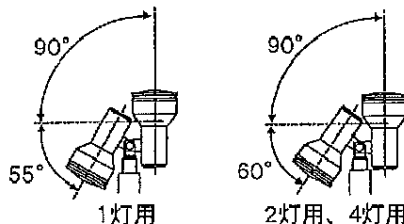
施工上のご注意

- ・水平方向は360°まで回転可能です。
- ・据え置きでご使用の場合は電源管配線を行い、空気が流通するようにしてください。（YA54590Kの場合）
- ・ご使用中にガラスや反射鏡が若干白く曇る場合があります。シリコンゴムバックキンから発生する微量の揮発ガスですので異常ではありません。やわらかい布などで拭いてからご使用ください。

照射可能方向
（YA54590Kの場合）



照射可能方向
（YA54591Kの場合）



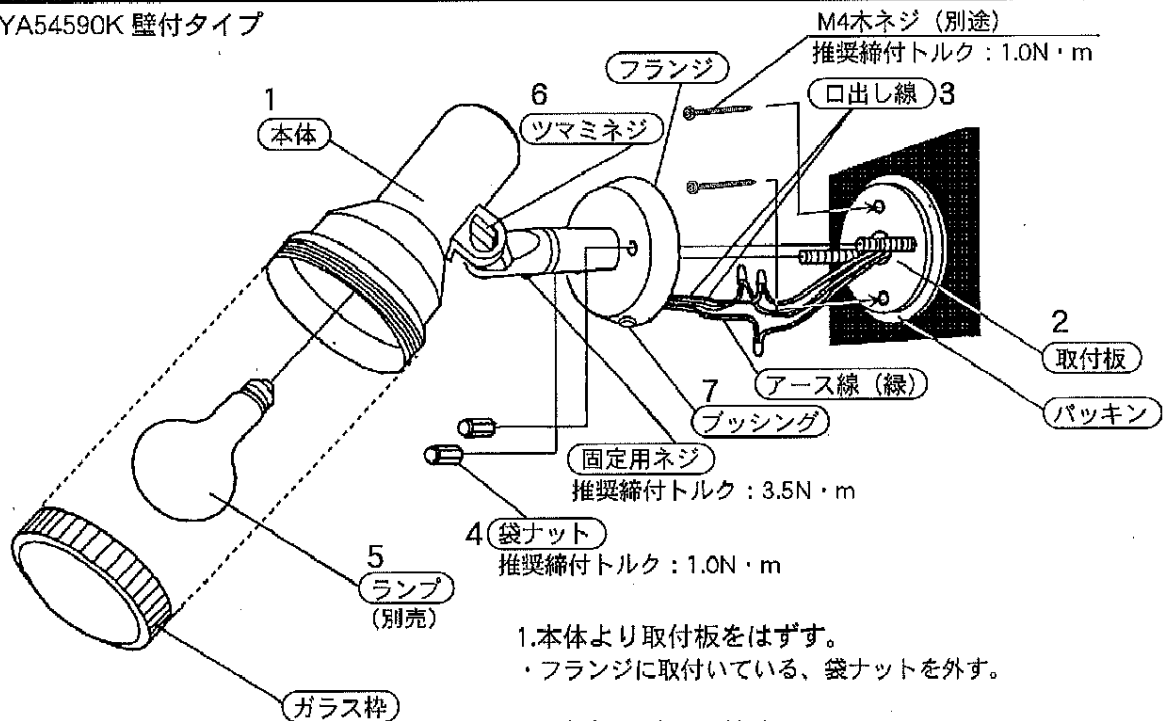
各部のなまえと取付け方



警告

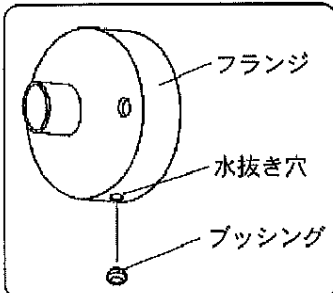
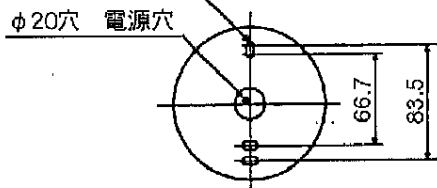
施工は取扱説明書に従い、確実にこなう。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。

*YA54590K 壁付タイプ



取付寸法

3 - 4.5×10穴 (取付用)



1. 本体より取付板をはずす。
・フランジに取付いている、袋ナットを外す。
2. 取付板を壁に取付ける。
・取付板をM4木ネジ (別途) 2本で確実に止める。
推奨締付トルク: 1.0N・m
不備があると器具落下の原因となります。
・電源線は取付板の電源穴より引き出す。
3. フランジ内で口出し線に電源電線・アース線を結線する。
・口出し線との接続は、スリーブ等により確実にを行い、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をする。
不備があると感電の原因となります。
・アース線を使用して、D種 (第3種) 接地工事を行う。
接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。
4. 本体を取付板に取付ける。
・袋ナットで固定する。
推奨締付トルク: 1.0N・m
締め付けが不完全な場合、落下の原因となります。
5. ランプを取付ける。
・必ず適合ランプを使用する。
・ガラス枠を外してからランプの取付及び交換を行う。
ガラス枠は両手で確実に締む。
締付が不完全な場合、浸水・感電の原因となります。
6. 照射方向を決めてセットする。
・垂直方向はつまみネジで、水平方向は固定ネジで調節後、確実に取付ける。
推奨締付トルク: 3.5N・m
締付が不完全な場合、落下・感電・火災の原因となります。
7. プッシングをはずす。(壁面取付の場合のみ)
・フランジのプッシングをはずし、水抜き穴を確保する。
フランジ内部に浸水して、感電・火災の原因となります。

工事店様へ

お客様の施設の安全で便利な保守のために、最後のページの施工記録表の各欄に記入し、使用されるお客様にお渡しくださるようお願いいたします。

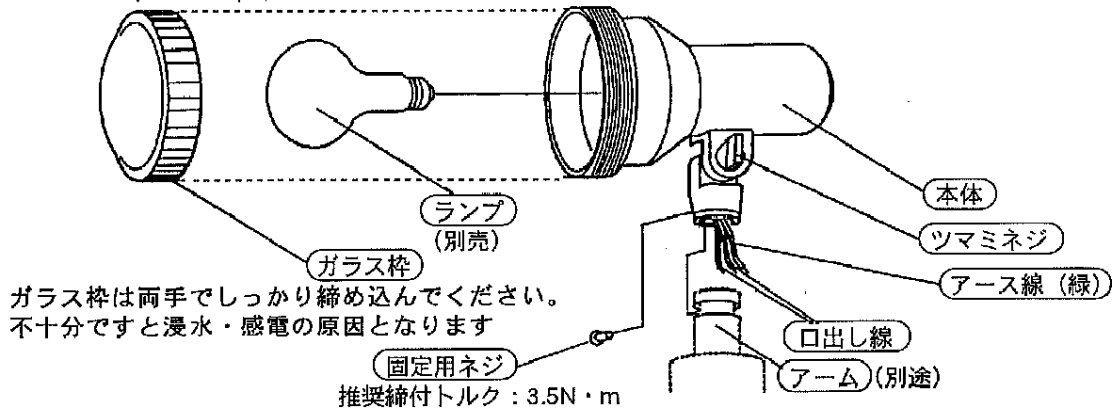
各部のなまえと取付け方



警告

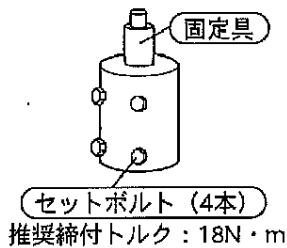
施工は取扱説明書に従い、確実にこなう。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。

*YA54591K ポールヘッドタイプ (アームは別途お求めください)



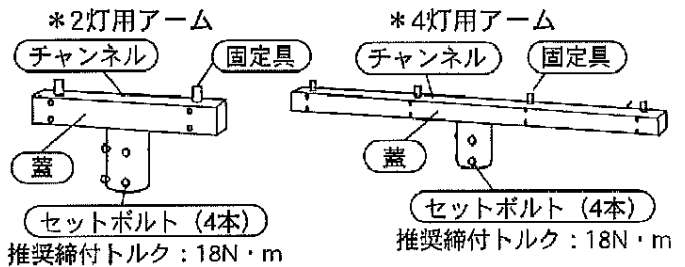
ガラス枠は両手でしっかり締め込んでください。
不十分ですと浸水・感電の原因となります

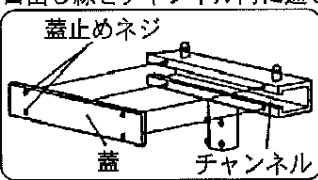
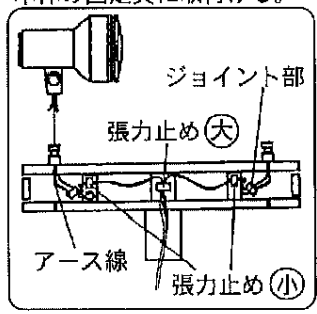
●1灯用アームの場合



1. 本体をアームに取付ける。
・口出し線をアーム内に通す。
2. アーム内で口出し線に電源電線・アース線を結線する。
・口出し線との接続は、スリーブ等により確実にを行い、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をする。
不備があると感電の原因となります。
・アース線を使用して、D種 (第3種) 接地工事を行なう。
・この際、張力止めは確実にこなう。
接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。
3. ランプを取付ける。
・必ず適合ランプを使用する。
・ガラス枠を外してからランプの取付及び交換を行う。
ガラス枠は両手で確実に締込む。
締付が不完全な場合、浸水・感電の原因となります。
4. 照射方向を決めてセットする。
・垂直方向はツマミネジで、水平方向は固定ネジで調節後、確実に取付ける。
推奨締付トルク: 3.5N・m
締付けが不完全な場合、落下・感電・火災の原因となります。

●2灯用・4灯用アームの場合



1. 蓋止めネジをゆるめて、蓋をはずす。
・口出し線をアーム内に通す。
2. 本体を固定具に取付ける。
・口出し線をチャンネル内を通し、本体の固定具に取付ける。


3. チャンネル内で口出し線に電源電線・アース線を結線する。
・この際、張力止めは確実にこなう。
(ジョイント部がチャンネル底面に触れないようにすること。)
・口出し線との接続は、スリーブ等により確実にを行い、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をする。
不備があると感電の原因となります。
・アース線を使用して、D種 (第3種) 接地工事を行なう。
接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。
4. 蓋を元通りにする。
5. ランプを取付ける。
・必ず適合ランプを使用する。
・ガラス枠を外してからランプの取付及び交換を行う。
ガラス枠は両手で確実に締込む。
締付が不完全な場合、浸水・感電の原因となります。
6. 照射方向を決めてセットする。
・垂直方向はツマミネジで、水平方向は固定ネジで調節後、確実に取付ける。
推奨締付トルク: 3.5N・m
締付が不完全な場合、落下・感電・火災の原因となります。

工事店様へ お客様の施設の安全で便利な保守のために、最後のページの施工記録表の各欄に記入し、使用されるお客様にお渡しくださるようお願いいたします。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。異常を感じたら速やかに電源を切り、修理を依頼する。
- ランプ交換は、各部のなまえと取付かたにしたがって確実にこなう。不備がありますと、落下・感電・火災の原因となります。

⚠注意

- 周囲温度が35℃以上の場所では使用しないでください。火災・ランプ短寿命の原因となります。
- ランプ点灯中及び、消灯後しばらくは前面ガラスが高温になりますので触れないでください。やけどの原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切り、器具が十分に冷えてから行なってください。感電・やけどの原因となります。
- ランプ交換は、器具との適合とランプの使用制限を確認のうえ、行なってください。ランプの破裂・火災の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスは異なります。ご使用期間が10年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
 - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
 - ・3年に1回は工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などの至る場合があります。

■保証について

- ・保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換 ⚠注意（必ず電源を切って行なってください。感電・やけどの原因となります。）

- ・器具の清掃について・・・
 - ・汚れを落とす場合は、石けん水を浸した柔らかい布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
 - ・シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤でふかないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・ランプ交換について・・・
 - ・器具との適合とランプの使用制限を確認のうえ行ってください。（パナソニック製ランプをご使用ください。）

点灯中や消灯後しばらくは、ランプが高温になっておりますので素手でさわらないでください。やけどの原因となります。

お客様へ ランプ交換など保守のために、下表内容をご確認のうえ、適切な保守用品をお求めください。なお、安全のために保守作業は、出来るだけ工事店にご依頼ください。

保守・点検のために

<施工記録>

器具品番	保守作業上の注記
取付年月日	
使用ランプ品番	